

2017年12月15日

～イトーヨーカドー全店の会計レジで実施～

「シリア難民の子どもへの教育支援」募金を贈呈

株式会社イトーヨーカ堂（代表取締役社長：三枝 富博、以下「当社」）は、2017年9月1日（金）から3ヶ月間、公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパンと協力し、シリア難民の子どもへの教育支援の活動資金としての募金を実施いたしました。

この店頭募金活動に対し、お客様、従業員から寄せられた募金は**4,656,406円**となり、12月14日（木）に、募金の全額を公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン佐藤活朗事務局長にお届けいたしました。今回の募金は「シリア難民の子どもへの教育支援」として活用されます。



公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン
佐藤活朗事務局長(写真右)へ目録を贈呈



紛争のあったシリアから逃れた難民の約半数は子どもで、その数は250万人以上ともわれています。



この取り組みにより、国連で定めた持続可能な開発目標 (SDG's) に貢献します。

当社では、2016年3月1日（火）より、国内のGMS（総合スーパー）として初めて、全国のイトーヨーカドー、ザ・プライス全店の会計レジに募金箱を毎年設置し、年間を通じてお客様、従業員へ募金を呼びかける活動を行っております。

（セルフレジ等、一部設置不可のレジを除く）。

この募金は3か月単位で様々な社会的課題の解決への一助になるテーマを決めて実施してまいります。

なお、12月1日（金）～2月28日（水）の3か月間は、東日本大震災の災害復興募金を実施中です。日本政府も2020年度までを「復興・創生期間」と位置付けており、当社が震災後に継続的に実施している東北復興支援「東北かけはしプロジェクト」の一環として取り組みます。

当社は、社会的課題の多様化に対応し、限られた分野に偏らず、様々な分野の課題解決に取り組んでまいります。今後もお客様・従業員と共に事業活動を通じた社会的課題を解決する活動を行ってまいります。

以上